

## 実践報告

## 札幌市立伏古小学校

### (1) 研究内容

研究課題：「学校にアイヌ民族の方を招いて行う体験学習」

- アイヌ民族の文化・考え方の素晴らしさや、自分たちの生活とのつながりを学習することを通して、「人を知り、人を思い、人を大切にする」力を育む。

### (2) 実践の内容

〈4年生〉

【実践①】「アイヌの人たちの生活と文化」（4時間）…社会科の学習を通して

○ねらい

北海道の先住民族であるアイヌの人たちが築いてきた歴史や文化について、教科書「わたしたちの札幌」や資料等を用いたりして調べて考える活動を通して、自然を生かしたり、自然と共存したりする知恵を明らかにすることで、現在の自分たちの生活とのつながりに気付くようにする。

○学習内容

■アイヌ民族の言葉や地名の由来について、クイズ形式で学習を行う。

（参考資料…「アイヌ民族：歴史と現在—未来を共に生きるために—」）

- ・ イラストを見て、次のアイヌ語はみなさんの使っている言葉では何を表しているのでしょうか？
- ・ アイヌ語から由来している「別」「内」「幌」の字の付く地名を北海道地図から探してみましょう。

アイヌ民族の言葉や地名に触れることで、北海道にはアイヌ民族が先住し、独自の文化圏をもっていたことに気付くことができた。

■アイヌの人たちの生活の様子について調べる。

（参考資料…「わたしたちの札幌」「アイヌ民族：歴史と現在」「サッポロピリカコタンに行こう！！ノート」等）

- ・ アイヌの人たちの「衣」「食」「住」「遊び」について、調べてまとめよう。

アイヌ民族が自然を大切にして、身の回りにある自然を生かして物づくりをしたり、工夫して生活していたことに気付くことができた。

■アイヌ民族の行事や文化について調べる。（参考資料…同上）

- ・ イヨマンテ（熊の霊送り）やユカラ（叙事詩）について調べよう。

アイヌ民族は、人間に役立ってくれたもの（生活用具等も）を粗末に扱わず、礼を尽くして送る行為が再び自分たちに役立つものとして戻ってくると考え、イヨマンテなどの行事を行っていることに気付くことができた。

【実践②】「アイヌの人たちに学ぶ」（14時間）…総合的な学習の時間を通して

○ねらい

アイヌ民族の方を学校にお招きして交流することを通して、アイヌ民族の文化や考え方をさらに詳しく調べたり、自分たちの生活とのつながりを考えたりする。

①DVD「カムイからのおくりもの」を視聴する。

- ・ サケという魚を通して、アイヌの人たちの考え方や生き物との関わり方を知る。

映像を通して、アイヌの人の姿に触れ、「食べ物、神様からいただいたもの」であり、「必要な分だけをいただく」というアイヌ民族の考え方に気付くことができた。

②アイヌ民族の文化についてさらに詳しく調べまとめる。

(参考資料…「アイヌ民族：歴史と現在」等)

- ・ 「衣」「食」「住」「信仰」「歌やおどり」「楽器」「文芸」等について調べまとめる。

アイヌ民族は身の回りの様々なものに神が宿っていると考え、大切に扱っていることに気付くことができた。

③アイヌの人たちとの交流の準備

- ・ 質問事項の確認や並び方などの準備

④アイヌの人たちをお招きしての学習…マユニタラモシリ札幌トンコリ保存会の方々(7名)

〔授業内容〕(45分間)

- ・ アイヌ民族の歴史や文化についての講話
- ・ アイヌ民族の古式舞踊など(トンコリ、ムックリの演奏)
- ・ 古式舞踊の体験活動(児童の体験活動)
- ・ 児童からの質問コーナー

⑤アイヌの人たちとの交流の振り返りとお礼



### (3) 研究のまとめ

#### ①成果

アイヌ民族の方々をお招きしての授業は、アイヌ民族の人たちを身近に感じ、アイヌ文化の一端に触れることができた貴重な体験だったと思われる。講話の中で私たちの住んでいる「伏古」の地名がアイヌ語に由来していることを知り、驚いたり、教科書や資料からは想像がつかないトンコリやムックリの音色や響きに聞き入る子どもたちの姿がたくさん見られた。また、学習を終えての感想文に、教えていただいて一緒に踊った古式舞踊がとても楽しかったことや着せていただいた民族衣装がとても暖かかったことを書いている児童がたくさんいた。アイヌ民族の人たちが今は、自分たちと同じような生活をしていること、継承してきた文化や考え方を受け継ぎ、大切にしていることを児童一人一人が実感することができた1時間であった。

## ②課題

4年生の社会科の学習における、4時間構成のアイヌ民族の学習に加えて、本校では、総合的な学習の時間の中でも「アイヌの人たちに学ぶ」という単元を位置付けて学習を進めてきた。アイヌ民族の方々をお招きしての学習やアイヌ民族の文化や考え方についてさらに詳しく調べたりするには、時間の確保が必要である。

また、アイヌ民族の歴史や現代社会との関わりなどについて、より詳しく学習していくためには、5、6年生でも、工夫して学習の機会を設定することが望ましいと考える。